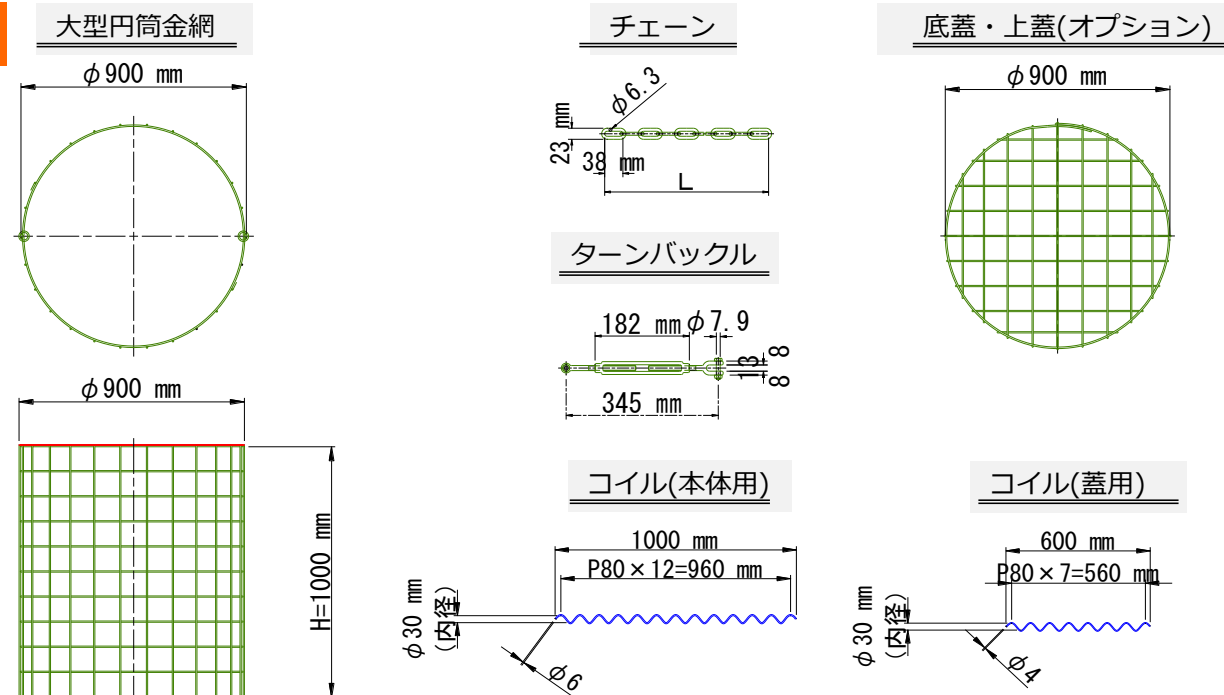


主な部材



大型円筒金網	: 鉄線径 φ 5 mm (網目 100 mm) および φ 6 mm (網目 100 mm) の溶接金網 コイル φ 6 mm, 溶融亜鉛-10% アルミニウムめっき
小判型	: 幅 0.9 m, 奥行1.35 m, 高さ 1.0 m, 鉄線径 φ 6 mm (本体), 4及び5 mm (上下蓋)
ハーフサイズ	: 直径 0.9 m, 高さ 0.45 m, 鉄線径 φ 5 mm (網目 75×100 mm), コイル φ 6 mm 溶融亜鉛-10% アルミニウムめっき
上蓋	: 鉄線径 φ 4 mm, ひし形金網 (網目 100 mm), コイル φ 4 mm
底蓋	: 鉄線径 φ 4 mm, 溶接金網 (網目 100 mm), コイル φ 4 mm 溶融亜鉛-10% アルミニウムめっき

*) 上蓋 (標準及びハーフ), 上下連結材及び吊り上げ金具はオプション品。

産学協同研究

「京都大学大学院工学研究科」
「昭和機械商事 株式会社」

国土交通省建設技術研究開発助成

本工法は、山間地の斜面災害や河川護岸の災害における復旧を目的に、国土交通省より平成24年度から3ヶ年にわたり建設技術研究開発の助成を受け開発した工法です。

施工可能範囲等

壁面勾配: 3 分から1割。
壁 高 さ : 山留め 最大 8 m 程度まで。

中 詰 材

割栗石, 15 ~ 20 cm。現地採取材など,
15 cm 以上, 最大30 cm程度。内側にトリカルネット等を張ることによって, 粒径の小さい中詰材に対応可能となります。



補強土グループ
札幌営業所
仙台営業所
東京チェーングループ
富山営業所
名古屋営業所
大阪営業所
広島営業所
高松営業所
福岡営業所

大阪市住之江区北加賀屋1-3-23
札幌市白石区本通14丁目南2-5
仙台市若林区六丁目字南29-1-2-6
東京都足立区谷中3丁目9番14号
富山市太郎丸西町2丁目1番7号
名古屋市南区上浜町301番地4
大阪市住之江区北加賀屋1-3-23
東広島市八本松東2丁目5番18号
高松市林町2563-10
福岡市博多区榎田2丁目8番3号

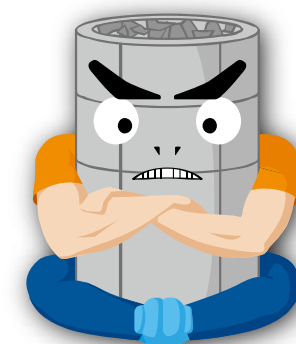
TEL.(06) 4977-6054
TEL.(011) 864-2333
TEL.(022) 385-7273
TEL.(03) 5613-1251
TEL.(076) 420-7008
TEL.(052) 613-3157
TEL.(06) 6685-6771
TEL.(082) 428-7958
TEL.(087) 869-2778
TEL.(092) 411-1017

FAX.(06) 6685-6750
FAX.(011) 864-2167
FAX.(022) 385-7327
FAX.(03) 5613-1210
FAX.(076) 420-7016
FAX.(052) 613-3158
FAX.(06) 6685-9013
FAX.(082) 428-8069
FAX.(087) 869-2783
FAX.(092) 411-1043

「国土交通省建設技術研究開発助成制度」 開発工法

クレーンで吊れる大型円筒金網

かご丸くん®



平成29年度 地盤工学会賞(技術開発賞) 受賞

1 | 高耐久性アルミ合金めっき部材を使用した恒久的かご工

2 | クレーン等で吊っても型崩れしません！

3 | 栗石の中詰めもバックホウでらくらく！

国土交通省 富士砂防事務所



東京都建設局 南多摩西部建設事務所



NETIS 登録番号 KK-160001-VE

特許番号・特許第6203671号
特許第6272261号
特許第6837245号

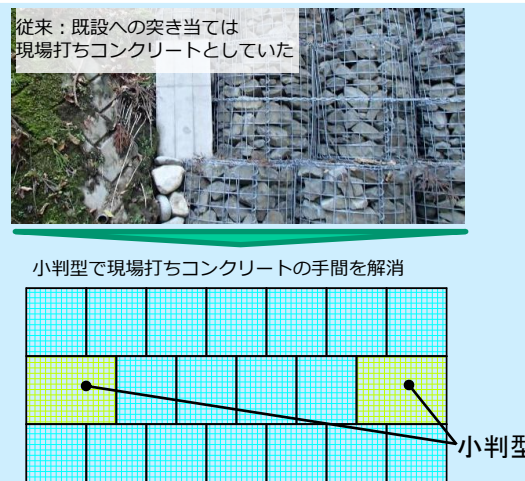
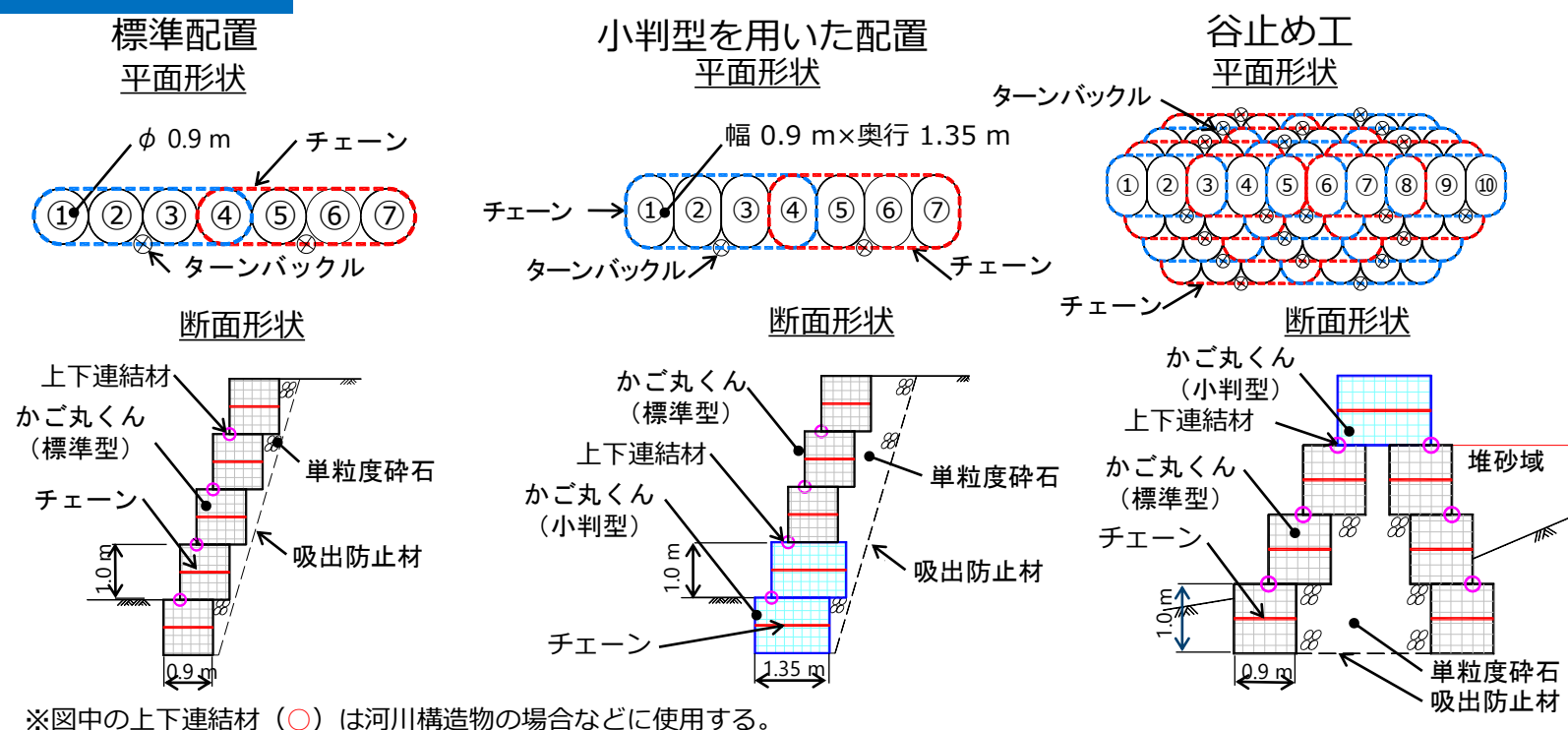
用途

山間地斜面の災害復旧，切土・盛土の山留工
河川護岸の災害復旧，谷止め工

「かご丸くん」の特長

- 半円筒の金網を重ね合わせた状態により現場へ搬入するため，**かさ張りません**。
- 組立てが簡単**。
- かご丸くんは型崩れしないので，**機械化施工**により割栗石の中詰め作業ができます。
- かご丸くんを**クレーン**で吊ることができるので**作業が早い**。
- かご丸くん複数個を**チェーン**で緊縛するため，**安定性が高い**。
- 長期耐久性に優れています**。
亜鉛－10%アルミニウム合金めっき（300 g/m² 以上）鉄線を用いた先めっき溶接金網を使用。通常の亜鉛めっきよりも，同じ付着量で**約 2 倍の耐食性**を有しています。

基本形状



かご丸くんの組立手順

① コイルを用いて半円筒金網を連結

